患者参加型医療への取り組み

1．当院の目指す取り組み

宇治脳卒中リハビリテーション病院（以下、「当院」という。）では、患者さま自身が自らの疾病や治療内容を十分理解していただき、主体性をもって治療・リハビリテーションに参加していただくことを目指しています。それにより皆さまのリハビリテーションの効果が上がり、安全な入院生活を送っていただけることを願います。

2．説明と意思表示

診療の内容につきわからないことは遠慮せずに何度でも当院の職員（以下、「職員」という。）にお尋ねください。
□医療行為に関わる患者さまご自身の意思表示は、はっきりと職員にお伝えください。
□同意書には納得してから署名してください。
□医師からの説明は一人でなく、できるだけご家族(代理人)と一緒にお聞きください。
□セカンドオピニオンをご希望の方は医師または医療相談窓口に相談してください。

3．患者さまの誤認防止対策

□患者さまの誤認防止にご協力ください。
・入院中はリストバンドをつけていただきます。
・検査・処置・注射の際はお名前をお聞きします。ご自身のフルネームをお答えください。

4．転倒転落予防について

□転倒転落に注意しましょう。
・環境の変化により思いもよらない転倒や転落事故が発生することがあります。
・リハビリテーションが進み運動機能が回復することにより転倒の危険が増すこともあります。
・医師等から許可された運動範囲を守ってください。
・不安を感じる時や自信のない行動には必ず職員をお呼びください。

5．迷惑行為対策

□暴言・暴力・ハラスメントについて
・他の患者さまの迷惑にならないように、病院や社会通念上のマナーやルールをお守りください。
・迷惑行為があった場合には、入院の継続を含め治療をお断りする場合があります。

（2025.2.1）